

# 平成 29 年度第 1 回総合教育会議 資料

- 資料 1 総合教育会議開催実績 . . . . . P 1
- 資料 2 平成 29 年度教育委員会の施策推進方針 . . . . . P 2
- 資料 3 児童生徒一人ひとりに向き合い寄り添う学校教育の  
充実 . . . . . P 3
- 資料 4 平成 29 年度岩手県教育委員会経営計画（概要） . P 5

平成 29 年 5 月 15 日

教育委員会事務局教育企画室

## 総合教育会議開催実績

## 1 平成 27 年度

回	開催日	区分	議 題
1	H27. 4. 27	第 1 回 定例会	【議決事項】 総合教育会議の運営について 【協議事項】 (1) 大綱の策定について (2) その他教育課題について ・ 本県教育の現状について ・ 新たな高等学校再編計画の策定について
2	H27. 7. 14	臨時会	【協議事項】 矢巾町における中学生自殺事案に関する対応について
3	H27. 12. 15	第 2 回 定例会	【協議事項】 (1) いじめ問題への対応について (2) 新たな県立高等学校再編計画案の基本的な考え方について

## 2 平成 28 年度

1	H28. 5. 16	第 1 回 定例会	【協議事項】 いわて県民計画第 3 期アクションプランを踏まえた平成 28 年度の教育委員会の重点施策について ・ 児童生徒一人ひとりに向き合い、寄り添う学校教育の充実 ・ 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に向けた取組
2	H28. 12. 16	第 2 回 定例会	【協議事項】 (1) 希望郷いわて国体後の競技力向上・スポーツ振興について (2) 教職員の不祥事防止について

## 平成 29 年度の施策推進方針

本年度の教育委員会の経営計画においては、「岩手県東日本大震災津波復興計画」復興実施計画（第 3 期）に基づき、引き続き、学びの場の復興に全力で取り組むとともに、「いわて県民計画」第 3 期アクションプランや「岩手県ふるさと振興総合戦略」に基づき、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現などに向けて、現下の課題に適切に対応しつつ、中長期的展望に立って、学校教育、生涯学習の推進を図っていきます。

本年度は特に、知事部局における文化スポーツ部の設置を機に、事務局の組織体制の整備も行いながら、児童生徒一人ひとりに向き合い寄り添う学校教育の充実と切れ目のない学びの保障の実現に向けて、学校教育の課題解決にこれまで以上に重点的に取り組みます。また、全ての教職員にコンプライアンスの徹底を図りながら、不祥事の発生を防止し、県民の教育に対する信頼と期待に応えていきます。

## ◆東日本大震災津波からの教育の復興

## Ⅰ きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実

- ・「いわての復興教育」の推進
- ・幼児児童生徒の心のサポートの充実
- ・児童生徒の安全で安心な教育環境の確保

## Ⅱ 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承

- ・復興に係る埋蔵文化財調査の推進及び市町村支援
- ・被災文化財の保存・管理支援
- ・被災児童生徒の文化活動の大会への参加支援

## Ⅲ 社会教育・生涯学習環境の整備

- ・社会教育施設の復旧支援
- ・地域コミュニティの復興支援
- ・復興に向けた学びの機会の充実

## Ⅳ スポーツ・レクリエーション環境の整備

- ・スポーツ・レクリエーション環境の整備
- ・被災生徒の運動部活動への支援

## ◆「いわて県民計画」第 3 期アクションプランの着実な推進

## Ⅰ 学校教育の充実

- ・児童生徒の学力向上
- ・キャリア教育の充実
- ・豊かな心を育む教育の推進
- ・健やかな体を育む教育の推進
- ・特別支援教育の充実
- ・家庭・地域との協働による学校経営の推進
- ・学校施設の整備

## Ⅱ 社会教育の充実と生涯を通じた学びの環境づくり

- ・教育振興運動の充実
- ・家庭教育支援の充実
- ・子どもの読書活動の推進
- ・放課後子ども総合プランの推進
- ・学習活動を支援する環境の充実
- ・社会教育施設におけるサービスの向上

## Ⅲ 文化芸術（学校における文化芸術）の振興及び文化財の保存と継承

- ・学校における文化芸術活動への支援
- ・世界遺産登録の推進
- ・文化財の保存と継承

## Ⅳ 豊かなスポーツライフの振興

- ・学校におけるスポーツライフの振興
- ・競技力向上の推進

# 児童生徒一人ひとりに向き合い寄り添う学校教育の充実

人口減少の進行やグローバル化、高度情報化の進展

自立していく基礎をしっかりと培うため、子どもの個性や特性等にきめ細かに対応した教育活動の充実

## 教育委員会事務局組織再編の概要

- 1 文化・スポーツ行政の知事部局一元化に伴う組織の見直しに併せ、より**学校教育の充実に注力する体制に再編**
- 2 **総括課長による迅速な意思決定**のもと、複雑化・多様化する**学校教育課題の解決**を図る体制に再編（学校教育室 > 学校調整課、学校教育課）
- 3 適正な組織規模を考慮し、**本庁組織を2室3課から1室5課に再編**

### 1 確かな学力の向上に向けた取組

【現状】		H27 → H28	小5	中2	高2
「授業の内容が分かる」と答えた児童生徒の割合(小5・中2・高2)		71%→72%	+1%	+1%	+1%
授業時間以外の学習に自主的に取り組む児童生徒の割合(小5・中2・高2)	2時間以上 ↗	19%→19%	+2%	-1%	+2%
	1時間未満 ↘	39%→38%	-3%	+3%	-4%

- ・「英語教育改善のための英語力調査」での教員の**英検準1級程度の割合が全国に比べ低い**。
- ・新学習指導要領では、**小学校外国語・教科「道徳」など新たな教育内容**が加わることで併せて、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための教員の授業力向上が求められている。

#### 【課題】

- (1) **学校組織全体での授業改善**の取組に対する学校への支援とともに、**授業改善や学習指導における優良な実践例を学校が知る**ための支援を行うことが求められている。
- (2) 授業力向上に向けた**教員研修について、効果を検証しながら改善**を図る必要がある。
- (3) **新学習指導要領の実施に向けた環境整備**と授業改善の取組みを推進する必要がある。

### 2 キャリア教育・復興教育の推進

#### 【現状】

- ・平成28年3月卒業生に占める就職者の割合は約29%で、そのうち、県内に就職した割合は約64%であり、また、大学等への進学率は約44%で、そのうち、県内大学に進学した割合は約26%という現状になっている。
- ・各学校において「いわての復興教育」を学校経営に位置づけ取り組んでいるが、**学校と地域が連携した取組の更なる充実**（より実践的な防災体制の構築等）が求められている。

#### 【課題】

- (1) ふるさと振興を一層推進する観点から、地元関係団体や企業、県内の高等教育機関等との更なる連携を図り、**県内高校生の地元定着率を向上**させることが求められている。
- (2) 力強い復興の基盤である「郷土を愛し、その復興・発展を支える人材の育成」のための復興教育を推進するため、**学校と地域・関係機関等との連携の一層の充実**が求められている。

### 1 確かな学力の向上に向けた取組

#### (1) 組織的に授業改善を推進するための学校体制確立の促進

- ・客観的な分析データを提供し、各学校が継続的に「**組織全体による授業改善**」が出来るよう支援する。
- ・「**組織全体による授業改善**」のための**カリキュラム・マネジメント**の浸透強化を図る。

#### (2) 優良な授業改善や学習指導の実践例の情報を共有するための支援体制の強化

- ・学校の改善支援を担当する**市町村教委の指導主事と連携**し、課題を共有しながら取組を推進する。
- ・中高連携学力向上協議会を通して**先進実践例を普及**させ、「**学校組織全体の取組**」の強化を図る。

#### (3) 教員の授業力向上のための研修の充実

- ・英語教員研修会の受講者を対象に**英検受検を推奨**し、成果の**検証・改善**を図りながら研修を強化する。
- ・指導主事訪問による**授業改善指導**および、**数学・英語の教員研修会による指導力のボトムアップ**を図る。

#### (4) 新学習指導要領移行へのロードマップ

- ・平成29年3月31日に告示された新学習指導要領の趣旨や内容を周知するとともに、**主体的・対話的で深い学び**（アクティブラーニング）の視点から**授業改善の取組みを活性化**するなど、学校教育において社会的に自立していく基礎をしっかりと培うための準備を進める。

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
小学校	中教審答申	改訂	周知徹底	移行期間		全面実施	
中学校				移行期間		全面実施	
高校				周知・徹底	移行期間		年次進行で実施

### 2 キャリア教育・復興教育の推進

#### (1) 関係団体・企業等との連携によるキャリア教育の推進

- ・関係団体・企業等との連携を強化し、生徒の発達段階に応じた職場体験やインターンシップ等の機会を通じて地元企業への理解を深め、**地元企業等への就職意識の醸成**を図る。
- ・県内の大学等との連携を強化し、キャリア教育の一貫として「**高大連携講座**」等の取組を拡充し、県内高校生の**地元大学等への進学意識の醸成**を図る。

#### (2) 岩手の復興・発展及び地域防災を支える人材の育成

- ・復興教育副読本の活用を一層推進し、復興・発展に寄与する人材を育成するとともに、校種間・家庭・地域・関係機関の連携による実践的な防災教育を充実する「**連携型復興教育スクール**」を推進する。

現状と課題

3 学校体育、運動部活動の充実

**【現状】**

- ・1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は小5男子4.2%、女子8.4%、中2男子3.5%、女子14.7%であるなど**運動する子としない子の二極化傾向**にある。
- ・オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業により、**小中高等学校4校にオリンピック・パラリンピアンを派遣**している。また、**中学校5校(6部)、高等学校・特別支援学校7校(15部)にアスレティックトレーナー等を派遣**しており、引き続き実施していく必要がある。
- ・運動部活動の休養日を週に1回以上設定している中学校は全国平均71.2%に対し**61.1%と低い現状**にある。
- ・全国高校総体全入賞数のうち、**83.7%が強化指定校・推進校によるもの**となっている。

**【課題】**

- ・生涯にわたりスポーツに親しむことのできる環境づくりを推進するため**スポーツの多様な関わり方や価値について学ぶ機会の充実**が求められている。
- ・運動部活動における**科学的な指導方法や適切な休養の重要性の普及**とともに、希望郷いわて国体後の**競技力向上**を図ることが求められている。

4 学校における文化芸術活動の振興

**【現状】**

- ・優れた文化芸術の鑑賞・体験機会について、**地域ごとに格差**がある。
- ・**中学校**における文化活動は、少子化の影響もあり活動分野が偏っているほか、指導する体制や成果を発表する機会の不足など**取組環境もあまり十分ではない**。
- ・**高等学校**については、合唱部門や文芸部門などにおいて毎年**全国的に素晴らしい成績**を上げている。

**【課題】**

- ・学校における文化芸術活動の振興を図るため、**優れた文化芸術の鑑賞・体験する機会や日常の文化活動の成果を発表・交流する機会、創作意欲の向上及び創作技量・演奏技術等の向上**に資する研修機会の確保が求められている。

学校体育・運動部活動の主な成績

- ・平成28年度全国高等学校総合体育大会  
カヌー競技(女子総合) 優勝 不来方高校  
ボート競技(男子舵手つきクォドルプル) 優勝 黒沢尻工業高校
- ・平成28年度全国中学校体育大会  
陸上競技(男子3000m) 準優勝 盛岡市立河南中学校 佐々木 壱 選手  
水泳競技(女子200mバタフライ) 第3位 滝沢市立滝沢中学校 中島 千咲代 選手
- ・希望郷いわて国体  
剣道競技(少年女子団体) 優勝 盛岡南高校
- ・ながの銀嶺国体  
スピードスケート(少年女子500m) 優勝 盛岡工業高校 熊谷 萌 選手

3 学校体育、運動部活動の充実

- (1) **体力向上や運動に親しむ環境づくり**  
・児童生徒の運動習慣の形成をめざし「希望郷いわて 元気・体カアップ60運動」の一層の定着を図る。
- (2) **学校におけるスポーツライフの振興**  
・教科や運動部活動において、「する・みる・支える・知る」といった**運動・スポーツとの多様な関わり方**を学ぶ機会の充実を図る。  
・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた、**オリンピック・パラリンピック教育**を推進する。
- (3) **運動部活動における効率的・効果的な指導の推進**  
・スポーツ医・科学を活用した**効率的・効果的な指導**の充実を図る。  
・運動部活動における**適切な休養日と活動時間の設定**に向けた取組を推進する。
- (4) **競技力向上の推進**  
・中体連・高体連等の関係団体及び文化スポーツ部との連携や優れた指導者の育成、特別強化指定校等への配置を進めることなどにより、**中長期的視野に立った選手育成・競技力向上**の推進を図る。

4 学校における文化芸術活動の振興

- (1) **学校における文化部活動の充実**  
・学校における文化芸術活動の振興を図るため、**県高等学校総合文化祭や県中学校総合文化祭の開催及び全国高等学校総合文化祭や全国中学校総合文化祭への参加**を支援するとともに、生徒の技量を向上させるための**県高文連のセミナーサポート事業の開催**を支援する。
- (2) **優れた文化芸術に触れる機会づくり【文化スポーツ部事業】**  
・青少年劇場や文化芸術による子供の育成事業のほか、**日露交歓コンサート**など、様々な事業を通じて**子どもたちへ優れた文化芸術に触れる機会**を確保する。
- (3) **県主催イベントと連携した発表機会の確保【文化スポーツ部事業】**  
・日常の文化活動の成果を発表・交流する機会を確保するため**岩手県民俗芸能フェスティバル**における**高文連枠**を設定する。

学校文化活動の主な成績

- ・第40回全国高等学校総合文化祭  
将棋部門 女子団体 盛岡第一高校 準優勝・文化庁長官賞
- ・第31回全国高等学校文芸コンクール  
小説部門 最優秀賞・文部科学大臣賞 盛岡第三高校 佐藤 薫乃 さん  
文芸部誌部門 最優秀賞・文部科学大臣賞 盛岡第四高校 文芸部
- ・第69回全日本合唱コンクール全国大会 金賞・文部科学大臣賞 不来方高校音楽部
- ・第64回全日本吹奏楽コンクール全国大会 銀賞 北上市立上野中学校

対応の方向性及び具体的取組内容

【スポーツ面】 男女総合成績・天皇杯第2位(東京都を除く道府県でトップ)

いわて国体のレガシー

【文化面】 開閉会式典や文化プログラムを通じて得た文化の盛り上がり

# 平成29年度 岩手県教育委員会 経営計画（概要版）

県教育委員会では、「岩手県東日本大震災津波復興計画」復興実施計画（第3期）に基づき、引き続き、学びの場の復興に全力で取り組むとともに、「いわて県民計画」第3期アクションプランや「岩手県ふるさと振興総合戦略」に基づき、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現などに向けて、現下の課題に適切に対応しつつ、中長期的展望に立って、学校教育、生涯学習の推進を図っていきます。

本年度は特に、知事部局における文化スポーツ部の設置を機に、事務局の組織体制の整備も行いながら、児童生徒一人ひとりに向き合い寄り添う学校教育の充実と切れ目のない学びの保障の実現に向けて、学校教育の課題解決にこれまで以上に重点的に取り組みます。また、希望郷いわて国体・大会のレガシーを継承していくため、文化・スポーツの振興の基盤となる学校教育における文化芸術活動及び学校体育の振興に取り組みます。

さらに、全ての教職員にコンプライアンスの徹底を図りながら、不祥事の発生を防止し、県民の教育に対する信頼と期待に応えていきます。

## ◆東日本大震災津波からの教育の復興

### I きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実

#### ○「いわての復興教育」の推進

- (1)「いわての復興教育」の推進 3つの教育的価値(「いきる」「かかわる」「そなえる」)を育てる各学校の取組の支援。復興教育副読本の効果的な活用による教育活動の推進。
- (2)実践的な防災教育の推進 学校相互や学校・家庭・地域の連携による、自然災害時に自らの命を守り抜くために必要な態度の育成。高校生に対する避難所運営体験等の防災学習の充実。学校の防災体制の確立と児童生徒の防災意識の向上に向けた取組の支援。関係部局と連携した防災訓練の実施。

#### ○ 幼児児童生徒の心のサポートの充実

- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置等による心のサポート体制の充実。
- ・「心とからだの健康観察」結果の提供。「こころのファイル」の作成・活用等による中長期にわたる支援。

#### ○ 児童生徒の安全で安心な教育環境の確保

- (1)被災した学校施設の復旧整備 高田高校の艇庫、講義棟等の整備。市町村立学校施設の復旧整備の支援。「いわての学び希望基金」の活用による高校の産業教育設備等の整備。
- (2)学校における放射線対策 空間線量率の定期的な測定、土壌等の除染。給食食材等の放射性物質濃度の測定。
- (3)被災により親や生活基盤を失った児童生徒等への支援 「いわての学び希望基金」の活用による奨学金、教科書代・制服代・修学旅行経費の給付。
- (4)被災児童生徒の心のサポート及び学習支援等のための加配教職員の配置 心のサポートや学習支援等のための加配教職員の配置。
- (5)教職員の健康管理 教職員の心と体のケアの支援。
- (6)特別支援学校における就職支援 特別支援学校における現場実習や就職支援のための職業指導支援員の配置。
- (7)児童生徒の学習支援等を行う居場所づくりの推進 放課後、週末等における学習支援等を行う安心・安全な居場所づくり。

### II 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承

- (1)復興に係る埋蔵文化財調査の推進及び市町村支援 復興道路などの復興関連事業に伴う埋蔵文化財調査の推進、市町村の調査の支援。
- (2)被災文化財の保存・管理支援 救出した文化財・美術品等の修復、適切な保存・管理に対する支援。
- (3)被災児童生徒の文化活動の大会への参加支援 「いわての学び希望基金」の活用による文化活動の大会参加の支援。

### III 社会教育・生涯学習環境の整備

- (1)社会教育施設の復旧支援 被災した市町村の社会教育施設の復旧・再開の支援。
- (2)地域コミュニティの復興支援 地域住民の学習支援等による地域コミュニティの復興の支援。
- (3)復興に向けた学びの機会の充実 教育振興運動推進方針への復興教育の位置付けなど、地域と学校教育との連携による運動の充実。学習支援を中心とした地域活動及び地域住民の学習と交流の機会の充実。

### IV スポーツ・レクリエーション環境の整備

- (1)スポーツ・レクリエーション環境の整備 高田松原野外活動センターの復旧整備の推進。
- (2)被災生徒の運動部活動への支援 「いわての学び希望基金」の活用による運動部活動の大会参加の支援。自校で運動部の活動が十分に行えない学校に対する練習場所への移動の支援。

## ◆「いわて県民計画」第3期アクションプランの着実な推進

### 【教育推進に関する諸計画の一体的な推進】

H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31…
	いわて県民計画 (H21.12)										
	第1期アクションプラン		第2期アクションプラン			第3期アクションプラン					
	岩手県東日本大震災津波復興計画 (H23.8)										
	復興実施計画(第1期：基盤復興期間)			復興実施計画(第2期：本格復興期間)			復興実施計画(第3期：更なる展開への連結期間)				
	岩手県ふるさと振興総合戦略 (H27.10)										
	これからの岩手の義務教育 (H21.3)										
	今後の高等学校教育の基本的方向 (H22.3) (H27.4 改訂)										
	新たな県立高等学校再編計画 (H28.3)										
	いわてキャリア教育指針 (H22.3)										
	いわて特別支援教育推進プラン (H25.11)										
	岩手県子どもの読書活動推進計画 (第3次) (H26.6)										
	「いわての復興教育」プログラム (H24.2) (H25.2 改訂)										

## I 学校教育の充実

「生きる力」を一人ひとりに確実に身に付けさせ、社会的に自立していく基礎を培うとともに、子どもたち一人ひとりの個性や特性等にきめ細かく対応し、その能力の伸長に取り組みます。また、「新たな県立高等学校再編計画」に基づき、教育環境の整備とともに、学区の在り方の検討なども進めます。さらに、次期総合計画における教育政策の基本的方向等を定めるための調査、審議を開始します。

### ○ 児童生徒の学力向上

#### (1) 国語・数学(算数)・英語を核とした学力向上に向けた学校組織全体での取組の推進

学習状況調査の結果分析に基づいた授業改善の推進。学校組織全体の取組に向けた指導・助言。英語教育の充実に向けた教員研修内容の検証・改善。

#### (2) 「わかる授業」の推進

学習目標の明確な設定や能動的な授業展開の充実などによる「わかる授業」の徹底。授業改善に向けた教員相互の授業参観や校内研修などを学校組織全体で取り組むよう支援。

#### (3) 家庭学習の充実

授業と連動した家庭学習の推進。教育振興運動との連携による家庭学習の充実。

#### (4) 特色ある教育課程の編成

学校それぞれの実態と特色に合わせた教育課程の編成や教育活動の支援。新しい学習指導要領の実施に向けた改訂内容の周知。高大接続改革への対応。計画的・継続的な主権者教育の推進。

#### (5) グローバル人材の育成

イングリッシュ・キャンプや海外派遣研修、スーパーグローバルハイスクールなどの取組の実施。

#### (6) 少人数学級の推進

35人以下学級の中学3年生への拡充。

#### (7) 中学校における学校生活サポートの充実

学習面・生徒指導面の諸課題対応のための経験豊かな非常勤講師等の配置。

### ○ キャリア教育の充実

#### (1) 発達段階に応じたキャリア教育の充実

「キャリア教育全体計画」等の作成。発達段階に応じた計画的・組織的なキャリア教育の実施。「総合生活力」、「人生設計力」の育成。

#### (2) 社会への接続支援

進路希望の実現、人材育成に向けた各高等学校の取組の推進。産業界との連携による人材の育成。

### ○ 豊かな心を育む教育の推進

#### (1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

自他の生命と他者の人権を尊重し、大切にすることを基軸に据えた教育の推進。「特別の教科」として位置付けられた道徳の趣旨の徹底と授業の改善。道徳教育全体計画、年間指導計画の工夫・改善による道徳教育の充実。

#### (2) いじめなどに対応した教育相談機能の充実

学校における組織的な対応の強化。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置、学校心理士資格を有する教員の養成による相談体制の充実。

#### (3) 関係機関等との連携によるいじめ防止等への取組の推進

「岩手県いじめ問題対策連絡協議会」等を通じた関係機関・団体との連携強化、いじめの未然防止の取組の推進。いじめの重大事案に対する機動的な対応。

#### (4) 情報モラル教育の推進

各学校の情報モラル教育の中核となる教員の養成。情報モラル指導の工夫改善、啓発活動の実施。

### ○ 健やかな体を育む教育の推進

#### (1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり

体力・運動能力調査結果を踏まえた体力向上の取組の推進。「希望郷いわて 元気・体力アップ60運動」の定着の促進。スポーツへの興味・関心を高める取組の推進。

#### (2) 健康教育の充実

学校・家庭・関係機関の連携による望ましい生活習慣の確立や肥満予防・対策の取組の推進。

#### (3) 指導者の資質向上・授業力向上

授業力や運動部活動の指導力向上のための研修会の開催や地域スポーツ指導者の派遣。

#### (4) 運動部活動における効果的、計画的な指導の推進

学校における運動部活動の休養日の適切な設定に向けた取組の実施。

### ○ 特別支援教育の充実

#### (1) 就学前及び小学校、中学校、高等学校における特別支援教育の充実

幼稚園等への訪問相談や支援の実施。特別支援教育コーディネーター連絡会による支援体制の強化。「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」に基づく指導の充実。市町村等への支援体制の充実。

## V 業務推進の基本姿勢

#### (1) 教育行政の推進機能の充実

総合教育会議等を通じた知事との連携強化。教育委員会の会議における審議の充実。

#### (2) 市町村教育委員会との連携

市町村教育委員会との連携の強化。

#### (3) 行動規範の確保

岩手県職員憲章等に則った質の高い教育活動の推進。各所属長によるコンプライアンス宣言の実施。「コンプライアンス・マニュアル」の適時適切な改訂。児童生徒との信頼関係の構築、体罰を絶対に起こさない組織風土づくり。不祥事を起こした教職員に対する「事後研修」の実施。

#### (4) 教職員の資質・能力向上の推進

教員の資質向上を図るための協議会の設置、教員研修の充実。日常業務を通じた人材育成。

#### (5) 現場支援としての事務局体制の強化

教育は学校現場・子どもが主役であることを基底とした事務局の現場主義の一層の徹底。

#### (2) 特別支援学校における教育の充実

タブレット端末の活用による実践的・効果的な授業の実施。

交流籍を活用した小・中学校の児童生徒との「交流及び共同学習」の推進。

#### (3) 特別支援学校における就職支援

特別支援学校技能認定制度の創設。公的機関における現場実習の受入れの促進。企業との連携協議会による就職支援の強化。就労サポーター制度の活用促進。

#### (4) 特別支援学校施設の整備

盛岡となん支援学校、前沢明峰支援学校の整備。釜石祥雲支援学校の移転整備の検討。盛岡となん支援学校移転後の空き校舎を活用した新たな特別支援学校の設置に向けた施設改修。

#### (5) 県民と協働した特別支援教育体制づくり

県民向けの講演会の開催。特別支援教育ボランティアの養成・活用。

#### (6) 次期特別支援教育推進計画の検討

次期計画策定に向けた今後の特別支援教育の基本方針や施策等の検討。

### ○ 家庭・地域との協働による学校経営の推進

#### (1) 目標達成型の学校経営の推進

全教職員の参画による学校経営計画の策定。学校評価の実施。

評価結果等の保護者や地域等への公表・報告の推進。学校経営の改善への支援。

#### (2) 学校と家庭・地域との連携・協働の推進

「まなびフェスト」と教育振興運動の目標の共有化、連動した取組の推進。地域学校協働本部等の設置の推進、地域人材の参画などによる学校の教育活動の支援。

「チームとしての学校」の在り方の検討。

#### (3) 学校経営における組織力の向上

主幹教諭の配置校の拡大や主幹教諭の活用による諸課題解決に向けた体制の整備。

### ○ 学校施設の整備

#### (1) 県立学校施設の整備

千厩高校のグラウンド整備など学校施設設備の改修等の実施。

種市高校の潜水作業実習船の代船建造。

#### (2) 学校施設の耐震化

久慈高校、福岡工業高校の耐震改築。小規模施設の耐震改修。市町村立学校の耐震化への支援。

## II 社会教育の充実と生涯を通じた学びの環境づくり

#### (1) 教育振興運動の充実

研修会の充実や市町村との連携強化による地域の教育課題解決に向けた自主的・実践的運動の推進。全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」の取組の推進。

#### (2) 家庭教育支援の充実

孤立しがちな保護者と地域との結び付けによる地域全体での子育て支援の体制づくり。

#### (3) 子どもの読書活動の推進

「岩手県子どもの読書活動推進計画(第3次)」に基づく本に親しむ環境づくりの推進。学校教育との連携による「ブックリスト」を活用した読書活動の推進。

#### (4) 放課後子ども総合プランの推進

地域の教育力の活用、保健福祉部との連携による放課後等の居場所づくりの推進。

#### (5) 学習活動を支援する環境の充実

生涯学習情報の収集・提供及び研修機会の充実。地域の学びの場の拡充。高校生への就学支援金、奨学給付金の支給による保護者の経済的負担の軽減。

#### (6) 社会教育施設におけるサービス向上

県立社会教育施設のサービス向上。市町村の社会教育事業への支援。

## III 文化芸術(学校における文化芸術)の振興及び文化財の保存と継承

#### (1) 学校における文化芸術活動への支援

中学校、高校の総合文化祭の開催や全国大会への参加の支援。

#### (2) 世界遺産登録の推進

「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の登録に向けた取組の推進。「平泉の文化遺産」の適切な保存・管理。柳之御所遺跡の発掘調査、史跡公園の整備等の推進。設計に着手する平泉ガイド施設の機能充実に向けた文化スポーツ部との連携。

#### (3) 文化財の保存と継承

文化財の保護・伝承のための調査・指定。文化財の保存・管理の推進。

## IV 豊かなスポーツライフの振興

#### (1) 学校におけるスポーツライフの振興

スポーツとの多様な関わり方を楽しむことができる資質や能力を育成するための指導力の向上。オリンピック・パラリンピック教育の取組の実施。

#### (2) 競技力向上の推進

文化スポーツ部や関係団体との連携による中高生の競技力向上の支援。運動部活動へのアスレティックトレーナーの派遣。

#### (6) 組織横断的な業務推進

他部局やPTA等各種団体、市町村との連携と役割分担による課題解決に向けた取組の推進。

#### (7) 業務の効率化及び質の向上

業務の改善・効率化の推進。部活動の適切な休養日の設定の徹底など心身ともに健康を維持できる職場づくりの推進。教職員の負担軽減に向けた協議の実施。学校や教員の子どもと向き合う時間の確保や工夫ある教育活動を行うことのできる環境づくり。

#### (8) PDCAサイクルを踏まえた経営計画の推進

的確な現状分析、達成状況の確認による必要な改善策の立案。

#### (9) 「いわて県民計画」アクションプランの着実な推進

第3期アクションプラン構成事業の着実な推進と的確な政策評価の実施。

#### (10) 新たな組織体制による効果的な業務遂行

事務局本庁組織の改組による学校教育の一層の充実のための取組の推進。